

日程

10月1日(土)

13:00~16:45

10月2日(日)

9:30~17:00

受講料

15,000円(税込)

※テキスト代含む・昼食付

日本経済の成長それに伴う社会の成熟によって、糖尿病は増加の一途をたどり、現在では患者数は900万人、予備群を含めると2,000万人に達し、40歳以上では3人に1人が糖尿病かその予備群になっている。合併症も深刻で、糖尿病性腎症が原因の透析導入は年間1万6,000人に達し、糖尿病性網膜症が原因で失明する患者数は年間4,000人である。又糖尿病は心筋梗塞や脳卒中の最も重要な原因となっている。このような背景を考え、国は糖尿病を疾病対策の中心にすえている。一方、糖尿病の研究や臨床面での進歩も著しく、期待される糖尿病治療薬の臨床使用も進んでいる。現在糖尿病専門医は4,000名を超え、糖尿病看護認定看護師の数も250名を超えている。

東京労災病院では糖尿病の適切な予防、治療そして合併症対策に対する早期治療に、病院全体として取り組んでいる。今回は当院での知識の総力を看護師の皆様にわかりやすく提供し、糖尿病の病態、合併症、治療について短時間で理解してもらうようにプログラムを組みました。講師陣は医師だけでなく、看護師、薬剤師、栄養士にも参加していただき、又質疑応答の時間も十分にとりました。この機会に糖尿病の基本的知識と著しい進歩の両方を学んでいただきたいと思います。

プログラム

10月1日(土)

13:00~14:45

※講師はすべて東京労災病院所属です。

1

糖代謝 (90分)

●質疑応答(15分)

氏家 弘先生

(脳神経外科部長)

休憩 (15分)

15:00~16:45

2

糖尿病 (90分)

●質疑応答(15分)

桑原 公一郎先生

(糖尿病・内分泌内科副部長)

10月2日(日)

9:30~12:00

3

糖尿病の治療

① 総論 (60分)

桑原 公一郎先生

(糖尿病・内分泌内科副部長)

休憩 (10分)

② 薬物療法 (30分)

富田 道夫先生

(薬剤師)

③ 食事療法 (20分)

奥田 恵子先生

(栄養管理室長)

④ 運動療法 (20分)

川又 華代先生

(勤労者予防医療センター理学療法士)

昼食 (60分)

13:00~16:00

4

糖尿病の合併症

① 糖尿病性網膜症 (45分)

戸田 和重先生

(眼科部長)

② 糖尿病性腎症 (45分)

安藤 明利先生

(副院長/内科部長)

休憩 (15分)

③ 血管障害とメタボリックシンドローム (60分)

氏家 弘先生

(脳神経外科部長)

●質疑応答(10分)

16:00~16:40

5

認定看護師の役割

① 血糖自己測定 (20分)

小泉 麻美先生

(糖尿病看護認定看護師)

② フットケア (20分)

岩塚 晶子先生

(糖尿病看護認定看護師)

16:40~17:00

全体への質疑応答 (20分)